

別記第1号様式(第7関係)

## 会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		豊島区子どもスキップ運営協議会
事務局（担当課）		教育委員会事務局 放課後対策課
開催日時		令和4年8月31日（水） 午前10時～11時30分
開催場所		区役所本庁舎8階レクチャールーム
議 題		子どもスキップの運営状況について 子どもスキップの一般利用の再開について
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数0人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委 員	白熊 千鶴子（豊島区青少年育成委員会連合会 会長） 根岸 幸子（豊島区青少年育成委員会連合会 常任幹事） 豊島 佳代子（豊島区青少年育成委員会連合会 幹事） 欠席 三原 眞理子（豊島区青少年育成委員会連合会 幹事） 田中 良行（富士見台小学校校長） 岡 将太（小学校PTA連合会会長） 町田 信子（清和放課後子ども教室地域コーディネーター） 西山 隆（池袋小学校学校開放運営委員会委員長） 金子 智雄（教育長） 澤田 健（教育委員会事務局教育部長） 副島 由理（子ども家庭部長）
	そ の 他	松浦 和代（高田地区主任児童委員） 栗林 知絵子（(特非)豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク理事）
	事 務 局	小澤 さおり（子ども家庭部子ども若者課長） 小野 義夫（教育委員会事務局放課後対策課長） 桑原 由貴子（教育委員会事務局放課後対策課児童支援係長） 森田 春美（教育委員会事務局子どもスキップ千早所長） 金澤 やよい（教育委員会事務局子どもスキップ朋有所長） 安部 純実（教育委員会事務局放課後対策課係員） 長谷部 佑佳（教育委員会事務局放課後対策課係員）

# 審 議 経 過

No. 1

## 1 開会

小野 義夫放課後対策課長から開会の挨拶

## 2 教育長挨拶

## 3 委員長選出

白熊 千鶴子委員を委員長として選出

## 4 報告・議題

### (1)子どもスキップの運営状況について

小野 義夫放課後対策課長より資料①について説明

### (2)子どもスキップの一般利用再開について

小野 義夫放課後対策課長より資料②について説明

## 5 各委員による意見交換

以下経過

### A 委員

お母さんたちから「夏休みは居場所がない、自分が仕事をしているとき、子どもが何をしているかわからない」という声を聞いた。一般利用を含めて、子どもたちが安心して遊べる場所が再開するのはありがたい。

### B 委員

「在宅ワーク中、子どもが家にいてどうしたらいいか」という話を保護者から聞いた。保護者の方が「そこにいるというだけで安心できる」という子どもの居場所はとても大事だと思う。自分の子どもが育ってきたように、地域の目で子どもたちを育てていかなければならないと感じている。

### C 委員

夏は暑すぎて校庭で遊ぶことができないため、子どもスキップ内が、密になっている。校庭が使えないときに、子どもたちが安全に遊べるように考えたい。

### D 委員

子どもたちの遊び場として、昔は友達の家などに遊びに行っていたが、最近はそのが減っているように感じる。公園や区民ひろばなどのほか、子どもの居場所としてスキップの一般利用の再開はとてもいいことだと思う。スキップでは様々な学年と過ごすことができ、子ども同士で接することで、喧嘩や仲直りをしながら、成長していくことができると思う。また、大人の目が入ることで、いじめにつながりそうなことや児童虐待が疑われることなど、小さなことでも学校と情報共有をして、積極的にスキップの運営を行ってほしい。

### 教育部長

感染症の拡大により様々な活動が制御されていたが、一般利用の再開により、いじめや児童虐待などについても早期発見につながるようすすめていきたい。また、児童相談所の開設により、福祉部署ともさらに連携を取りながら、子どもたちのためにより区として体制を組んでいきたい。我々だけではなく、委員の皆様の意見を伺いながら、また現場にも出て行って試行錯誤しながら取り組んでいきたい。

### 放課後対策課長

学校の職員会議にスキップ所長が出席している。児童相談所に関わるケースなどについては、学校・スキップ双方での情報共有しながら、学校と連携して取り組んでいる。

### A子どもスキップ所長

お盆の時期は利用が少なかったが、夏休みは朝の8時15分～夜7時まで、長い子では11時間ほど子どもスキップで過ごしている。

児童は学校を経由してくる平日よりも、長期休みの方が穏やかに過ごしている印象がある。自由に自分の思うように過ごすことができるのではないか。明日から学校が始まるが、学校や家庭で過ごしてきたところをうまくバランスを整えていきたい。

### B子どもスキップ所長

一般利用の再開に向けて7月に「スキップウィーク」として試行的に開催したが、学童児童も一般の児童と遊ぶのを楽しみにしていた。地域の方にもご協力いただき、お楽しみ会を開催するなど、子どもたちが楽しめるように工夫して運営している。

### 子ども若者課長

子ども若者総合相談として「アシスとしま」を開設している。子どもたちが学校で使用しているタブレットから直接、子ども若者支援員に相談できる「アシスとお話」システムを作っている。本日夏休み最終日のため、朝から相談が入っている。直接お話しにくい場合には「アシスとお話」を活用するようにお声がけいただきたい。

### E委員

新しく改築する学校にはスキップのスペースを踏まえた上で、計画していると思うが、既存のスキップは、古い学校の空き教室を利用していくしかなく、スペースの確保がなかなか難しいと思う。スキップの運営を良くしていくには、学校の建て替えの問題も避けて通れないと思うが、その点についてはいかがか。

**放課後対策課長**

共働きの増加などにより、学童クラブの需要は増えている状況。ハードの整備としては、建て替えまで待たなければいけないが、学校内で運営しているスキップについては、専用のコアスペース、セカンドスペースのほかに、学校の空き教室をサードスペースとして共用してスペースの確保をしている。

隣接型のスキップについては、学校から離れていることもあり、空き教室の利用は難しい。区全体の施設整備として、機をとらえてスペースの確保に向けて進めていきたい。

また、ハード面の整備だけでなく、マンパワーは必要になってくるため、職員の募集は通年で行っている。東京福祉大学など近隣の大学への採用のご案内や、求人サイト「バイトル」への動画を掲載など、インターネットでの就職活動に対してもアプローチしている。

そのほか、所長を中心に職員一人ひとりの質の向上として研修を通年で開催している。子どもがのびのびと安全に過ごせるよう、スペースの確保、職員配置や質の向上に取り組んでいきたい。

**教育長**

長寿命化計画として、今後どのように建て替えていくかということ公表している。建て替えにあたり、仮校舎の場所の確保が問題になっているので、なるべく近いところで運営できるように確保しなければならない。豊島区の西側については旧平和中学校を活用するということで目途がついている。特に東側は課題がまだまだあるが、対応を検討していきたい。

また、子どもが増加傾向にあるため、スペースの確保としては学校・スキップともに課題はある。学校と状況を共有しながら、使っていない場所を貸してもらうなど調整しながら進めていくとともに、是非現場のお知恵をいただきたい。

**C 委員**

隣接型の施設では、扉が狭く、段差も多いなど、ハード面で子どもたちもストレスがかかり、トラブルも起きやすい。子どもにとっては今が大事なので、施設整備についてはスピード感をもって対応してほしい。また、具合が悪くなった児童を静かに安心して休ませるスペースの確保が難しく、学校の保健室などをすぐに使うことができない。職員の休憩スペースなども十分でなく、職員同士の感染予防が難しい。子どもたちがのびのび過ごすために、また職員が誠心誠意子どもたちに対応できるように、現場を見て検討してほしい。

**D 委員**

一般利用開始について、感染状況が悪化した場合の利用の中止等の判断は、スキップ毎での判断になるのか、区として一斉に中止の判断をするのか、基準を伺いたい。

**放課後対策課長**

学校での学級閉鎖など、感染状況によりスキップ毎に個別に判断し対応する。全区的に感染が広がった場合は、区全体として判断する。

#### A 委員

学校の中のスキップは本当に大切な場所だと感じる。学校生活で問題があり、地域の居場所につながっている子どもについて、土日はプレパーク、平日の放課後は無料学習支援などで過ごし、大人の目の中で環境を変えて過ごしていこうと、学校と連携しながら取組みをしている。ただ、どうしても隙間の時間ができてしまい、一度家に帰ると出てこない子もいる。一般利用の直接利用が再開できると、そういった児童にも対応できる。原則はあるが、スキップの所長と相談しながら、子どもたちがうまく支援につながるよう柔軟な対応をしてくれているので、助かっている。

#### 放課後対策課長

所管は教育委員会であるが、スキップは福祉のサービス提供施設だと教育長から言われている。原則はあるが、個別の対応については、所長と相談しながら保護者に寄り添い、柔軟な対応をしていきたい。

#### E 委員

児童の登下校の時間になると、町会の人たちが外に出て声掛けをするなど、地域の目として児童を見守っている。学校運営協議会では、町会長が委員として参加し、スキップ、開放、学校（教育）、ひろばのことなど、様々なことを地域として話し合っている。これからも地域で連携を取りつつ、子どもたちの安全を見守っていきたい。

#### F 委員

スキップ職員は、朝早くから夜まで、子どもたちがケガをしないように見守りをしており、本当に頭が下がる。できればもっと職員数が増えるといいのではないかな。

#### B 委員

地域で子どもたちのために活動している方々が、このように顔を合わせて話ができる場があるのは、とてもいいことだと思う。主任児童委員は家庭訪問しながら、子どもや保護者の気持ちに寄り添いながら活動をしている。

外国籍の方で共働き世帯が増えており、日本語教室やファミリーサポートなど、そのような層へのサポートも手厚くしていければと感じる。

#### 子ども家庭部長

令和5年2月から児童相談所を開設する。開設したからといって満員になることなく、

空になるように、設置をきっかけに児童虐待の予防に力を入れていきたい。地域での見守りの中で、子どもたちのケアをしていきながら、安心して生活できるよう、皆様にも是非ご協力をお願いしたい。

※ 審議経過の記載が2頁以上にわたる場合は、右肩にNo.を付す。

提出された資料等	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和4年度 子どもスキップ運営協議会名簿</li><li>・子どもスキップ運営協議会設置要綱</li><li>・子どもスキップ運営状況（資料1）</li><li>・子どもスキップ一般利用の再開について（資料2）</li></ul>
----------	--